

初版作成日：2019年03月05日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：マシューズ LS-3003緑インク

製品番号 (SDS NO)：LLS3003GR-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：産業用インクジェットプリンター用インク

供給者情報詳細

供給者：アルマーク株式会社(旧:株式会社ユニオンコーポレーション)

住所：大阪府吹田市江の木町19-19

担当部署：マーケティング部

電話番号：06-6369-2711

FAX：06-6369-1298

製造元：(米国) Matthews International Corporation

住所：101 Fairview Avenue Pittsburgh Pennsylvania, USA, 15238

電話：412-665-2500

FAX：412-828-4545

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策

保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
青色染料	5.0 - <10	-	-
水	80 - 90	7732-18-5	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし
GHS分類区分該当有害成分
腐食シンボル該当成分
青色染料

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス を使用すること。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

消火作業者は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護眼鏡/保護面を着用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 指定温度以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 上限保存温度 :4.4°C
- 下限保存温度 :32.2

容器包装材料

- 他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(青色染料)

Long-term exposure limit(8-hour TWA):WEL 1.0 mg/m³

WEL=Workplace Exposure Limit

ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

衛生対策

- 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : 水溶性液体

色 : 緑色

臭い : 溶剤臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 : 100°C

融点/凝固点 : 0°C

引火点 : 適用外

自然発火温度 : 適用外

爆発特性 : 適用外

蒸気圧 : 23.4hPa

蒸気密度 : 1.27

比重/密度: 0.9 - 1.1

溶解度

- 水に対する溶解度 : 混和する

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

- 常温常圧で安定

避けるべき条件

- 衝撃、摩擦、火気またはその他の着火源

凍結すること。

混触危険物質

強塩基

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

地下水などの水流に入った場合には、水生生物などの環境へ作用を及ぼす。

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

この物質は有害廃棄物として処理する。

汚染容器及び包装

容器は有害廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

IMDG Codeに該当しない

IATA 航空危険物規則書

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

環境有害性

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制については、貴社の責任でご調査願います。

記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分、サプライヤから開示を受けていない

不純物に関する情報は含まれていません。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code (Amendment 38-16) 2016

IATA 航空危険物規則書 第59版 (2018年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

この製品安全データシートは、製造者からの情報を元に編集したものであり、この製品の安全な使用と取り扱いのために必要な注意事項をはじめ、危険性に関する情報を記載し、関係者に周知するためのものである。本データシートは、この製品が目的とする使用における健康、安全および環境問題に関する手引きであり、使用に際しての技術的性能を保証するものではない。また、このデータシートに記載された情報は、現在知りえた情報であり、その正確性、信頼性または完全性を保証するものではない。この使用および廃棄に際しては、適用を受ける法規を確認し遵守することが必要である。また、各注意事項は通常的な取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点に配慮が必要である。この製品を他の目的に使用してはならない。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成29年度)です。但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。